



幼保連携型認定こども園
こもれびの舎こども園
こもれびの舎児童クラブ



所在地：長崎県五島市下崎山町699番地

代表者：理事長 林田 輝久

設立：昭和45年6月

社員数：255人（令和6年6月1日時点）

事業内容：児童福祉事業、高齢者福祉事業、
障害者福祉事業

障害者雇用への取組の成果（認定に当たっての評価ポイント）

Ⅱ 成果（アウトカム） 数的側面

雇用状況	実雇用率	2.80%（令和6年6月1日現在）
	実雇用率（除外率適用前）	2.68%（令和6年6月1日現在）
定着状況	過去3年間に採用した障害者の就職6か月後定着率	100%
	過去3年間に採用した障害者の就職1年後定着率	100%

Ⅱ 成果（アウトカム） 質的側面

キャリア形成	・雇用している障害者（計8名、最低賃金減額特例対象者を除く）の半数の平均賃金は、長崎県の最低賃金である898円より約14%高く、1,023円となっている。
	・雇い入れ当初有期雇用であった職員を無期雇用へ転換。

I 取組（アウトプット） 1 体制づくり

組織面

- ・ 支援担当者を配置し、業務指導のみならず、職業生活・健康管理を目的とした相談を、振り返りシートなどを活用しながら定期的に行っている。
相談により把握した課題によっては、障害者就業・生活支援センターへ相談し、助言を受け課題解決に向けた支援を行っている。

2 仕事づくり

事業創出

- ・ 過去2年間のいずれかの年で経常利益が黒字

職務選定・創出

- ・ 過去3年以内に、障害特性に配慮した職務の選定が、就労支援機関との連携により行われている。
- ・ 障害者就業・生活支援センターの職場実習制度を利用し、障害特性を見極め職務のマッチングが図られている。

3 環境づくり

職務環境

- ・ 視覚障害の職員が業務を行いやすいように読書用拡大鏡を設置。機器の導入に伴い、視力や視野に加え、明るさや色など、見え方に応じた環境設定を行うことで作業の効率化を図る。

募集・採用

- ・ 過去3年間に3名の職場実習を受け入れ、実習に際しては担当者を配置し、障害者就業・生活支援センターと連携し、現場の見学や利用者と触れ合える機会を提供した内容となっている。

キャリア形成

- ・ 昇級・賞与に関する評価基準が明示されている人事考課規定を整備しており、全職員に周知されている。
また当該規定の内容説明や、評価の際に考慮される資格（資格取得のために利用できる資格取得貸付金制度）などの説明も行っている。

その他の雇用管理

- ・ 障害者の職場定着のため障害者就業・生活支援センター等から定期的な職場訪問による相談支援等を受け入れ、問題が起こった場合には速やかに連携できる関係を構築している。